

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2201411	インテリアデザイン Interior Design	丹羽 誠次郎	専門	2	必修	1年 後期

科目の概要

インテリアとは内部（空間）一般を指し示す言葉だが、この科目では住宅のインテリアを対象に授業を展開する。将来の自分とその同居人を架空のクライアントとして設定し、そのライフスタイルに合ったインテリアの提案を準備することを通して、インテリアを構成する各要素と各室空間の演出をするための基礎知識を修得していく。この学修では、人々の日常生活を住の面から支援することができるようになるために、1年前期「住生活論」で獲得した知識・技術を活用する方法を実践的に学ぶ。

学修内容	到達目標
① 生活行為とインテリアの空間の関係性を理解し、インテリアコーディネート基礎的な技術を学ぶ。	① ライフスタイルの関係から住宅の間取りを考え、インテリアのコーディネートを提案できる。
② 平面図、展開図の読み方、描き方を学ぶ。	② 平面図と展開図をもちいて室内空間を表現できる。
③ 各室空間の特徴と各インテリアエレメントについての基礎知識を理解する。	③ 各室空間の特徴と各インテリアエレメントについての基礎知識を述べるができる。
④ 優れたあるいはユニークな住宅、インテリアの事例を知る。	④ 優れたあるいはユニークな住宅、インテリアの事例を調査し、その魅力を説明できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業時間外の時間を使い、課題の準備、未完了の課題の作成に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	課題の作成にあたって自ら高い目標を設定し、そこへ到達するための努力ができる。
考え抜く力	課題発見力	課題作成のために複数の事例にあたり、発想を広げることができる。他の受講生がおこなうプレゼンテーションをしっかりと理解し、自身の発想を広げるために活用することができる。
	計画力	課題作成のために与えられた時間を有効に活用し、作品を高い完成度に導くことができる。
	創造力	課題の条件を複数の観点から検討し、先行事例を有効に活用しながら独自性のある作品を完成させることができる。
チームで働く力	発信力	優れたあるいはユニークな住宅、インテリアの事例を調査し、その魅力を説明できる。課題作品のコンセプトを作品内に反映させるのみならず、口頭でも説明できる。
	傾聴力	他の受講生がおこなうプレゼンテーションをしっかりと理解し、自身の発想を広げるために活用することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	無断欠席、遅刻、授業中の居眠りや私語などを授業に支障をきたす行為を慎み、円滑な授業運営に協力できる。課題を条件に従って作成し、かつ期限内に提出できる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。必要な資料は授業内で配布する。

参考書：授業内で適宜紹介していく。

他科目との関連、資格との関連

住関連の科目（インテリアデザイン、住文化論、住居管理論、住宅計画）のイントロダクションに位置する科目であり、卒業と教職の必修科目となっているので必ず受講し、単位を取得すること。

学修上の助言	受講生とのルール
普段から図書館の住宅建築、インテリア関連の書籍、雑誌にあたり、インテリアショップ、家具店へ出掛けるなどさまざまな情報に接する機会を持つようにすること。 ※課題作成にあたり全体で 1,000 円程度の費用が必要となる。	作業を円滑に進めるために、資料の収集や整理は授業時間外でおこなう。また時間内に終わられなかった作業は持ち帰って、次の授業までに追いついておくこと。 6回以上の欠席（遅刻は3回で欠席1回分とする）は科目放棄として扱う。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験		①	
		②	
		③	
小テスト		①	
		②	
		③	
レポート		①	
		②	
		③	
成果発表 (口頭・実技)	20	①	✓
		②	✓
		③	
		④	✓
		⑤	
作品	70	①	✓
		②	✓
		③	✓
		④	✓
		⑤	
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	
		②	
		③	
		④	
		⑤	
総合評価 割合	100		

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>① 提示された条件を複数の観点から検討・解釈し、独自の表現に結びつけている。</p> <p>② クライアントのライフスタイルに沿って、間取りが提案できており、かつ空間の扱いに工夫が見られる。</p> <p>③ クライアントのライフスタイルに沿って家具、インテリアエレメント、生活財が適切に選択されている</p> <p>④ 図面とボードが丁寧かつ美しく仕上がっている。</p> <p>⑤ 条件を満たしたプレゼンテーション(口頭発表)が工夫を加えて行われている。</p> <p>※上記基準を全て満たし、そのうち1項目以上が極めて高く評価できると判断された場合、S(秀)評価をする。</p>	<p>① 提示された条件を複数の観点から検討している。</p> <p>② クライアントのライフスタイルに沿って、間取りが提案できている。</p> <p>③ クライアントのライフスタイルを考慮した家具、インテリアエレメント、生活財の選択をしている</p> <p>④ 図面とボードが丁寧に仕上げられている。</p> <p>⑤ 条件を満たしたプレゼンテーション(口頭発表)ができている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	01-05 インテリアコーディネート の準備 生活とインテリアの関係について学ぶ。 課題提示・住人(クライアント)の設定	講義と質疑応答 実習	科目の概要と、課題の目標を理解できる。 住人(クライアント)の設定ができる。	(予習)シラバスを読み、科目概要を理解しておく。 (復習)未完了の課題(住人の設定)を完成させる。	30 60	主体性 課題発見力 創造力
2週 /	平面図・開図の読み方と描き方を理解する。 平面図・展開図作成の練習 「あなたの椅子・わたしの椅子」のプレゼンテーション	講義 実習:平面図・展開図の作成練習 プレゼンテーション	平面図・展開図の基本が理解できる。 「あなたの椅子、わたしの椅子」のプレゼンテーションができる/他学生のプレゼンテーションから課題抽出できる。	(予習)「あなたの椅子、わたしの椅子」のプレゼンテーションの準備をする。 (復習)未完了の練習課題(平面図・展開図)を完成させる。	60 30	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
3週 /	身体とインテリアの関係について考える。 グループでの実測調査 「すごい住宅・すてきな住宅」のプレゼンテーション (03-05の担当回で発表)	講義 実習 プレゼンテーション	チームで協力して実測調査ができる。 「すごい住宅・すてきな住宅」のプレゼンテーションができる/他学生のプレゼンテーションから課題抽出できる。	(予習)「すごい住宅・すてきな住宅」のプレゼンテーション準備をする。 (復習)未完了の課題(実測調査)を完成させる。	60 30	主体性 実行力 規律性 課題発見力 発信力 傾聴力
4週 /	モノとインテリアの関係について考える。 生活財調査 「すごい住宅・すてきな住宅」のプレゼンテーション (03-05の担当回で発表)	講義 実習 プレゼンテーション	生活財と生活空間の関係から生活の豊かさについて考えることができる。	(予習)「すごい住宅・すてきな住宅」のプレゼンテーション準備をする。 (復習)生活財調査を完成させる。	60 30	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
5週 /	モノとインテリアの関係について考える。 ※家具チップの作成 「すごい住宅・すてきな住宅」のプレゼンテーション (03-05の担当回で発表)	講義 実習 プレゼンテーション	生活財と生活空間の関係から生活の豊かさについて考えることができる。 身体との関係でインテリアを理解できる。	(予習)「すごい住宅・すてきな住宅」のプレゼンテーション準備をする。 (復習)家具チップの作成を完了させる。	60 30	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力
6週 /	06-10 インテリアコーディネートの検討 住宅内の各空間の特徴と演出方法について考える。 ※間取りのエスキース1	講義 実習:エスキース	ライフスタイルとの関連で間取りを考えられる。	(予習)家具、インテリアエレメントの情報収集を行う。 (復習)間取りのエスキースを複数案作成する。	30 60	主体性 実行力 課題発見力 創造力
7週 /	空間を規定する要素(柱と壁)について考える。 ※間取りのエスキース2	講義 実習:エスキース	空間演出の方法をエスキースに応用できる。	(予習)家具、インテリアエレメント、の情報収集を行う。 (復習)複数案を比較検討し、修正案を作成する。	30 60	主体性 実行力 課題発見力 創造力
8週 /	空間を規定する要素(床と天井)について考える。 ※間取りのエスキース3	講義 実習:エスキース	インテリアを3次元の空間として把握できる。	(予習)家具、インテリアエレメント、の情報収集を行う。 (復習)複数案を比較検討し、最終確定案を作成する。	30 60	主体性 実課題発見力 実行力 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	空間を規定する要素（開口部と建具）について考える。 ※平面図の作成	講義 実習:平面図の作成	設定した条件に沿った間取りが提案できる。	(予習)家具、インテリアエレメント、生活財の情報収集を行う。 (復習)未完了の課題(平面図の作成)を完成させる。	30 60	主体性 実行力 計画力 創造力
10週 /	家具の種類と分類について理解する。 ※家具、インテリアエレメント、生活財の選定	講義 実習:エレメントの選定	家具の種類と分類が理解できる。	(復習)これまでに収集した家具、インテリアエレメント、生活財の資料を整理する。	90	主体性 実行力 計画力 創造力
11週 /	11-15 インテリアコーディネート の提案 ウインドウトリートメント、ライティングの種類、方法を知る ※展開図の作成	講義 実習:展開図の作成	ウインドウトリートメント、ライティング種類、方法が理解できる。	(復習)未完了の課題(展開図の作成)を完成させる。	90	実行力 計画力 創造力
12週 /	※図面のクリーンアップ インキング	実習:インキング	丁寧に作図を進めることができる。	(復習)未完了の課題(図面のインキング)を完成させる。	90	実行力 計画力 創造力
13週 /	色彩計画について色、テクスチャーの観点から空間を考える。 ※平面図、展開図の着色	講義 実習:図面の着色	丁寧に作図を完成することができる。	(復習)未完了の課題(図面の着色)を完成させる。	90	実行力 計画力 創造力
14週 /	※プレゼンボードに作品のまとめをおこなう。	実習:作品のまとめ プレゼンテーションの準備	プレゼンボードに作品をまとめ、完成させることができる	(復習)未完了の課題作品を完成させる。	90	実行力 計画力 創造力
15週 /	課題作品のプレゼンテーション、講評を通して科目内容理解の再確認をおこなう。	講義 口頭発表 講評	他学生の作品の鑑賞を通して、自作の課題を発見できる。	(予習)未完了の課題作品を完成させ、プレゼンテーション(口頭発表)の準備をおこなう。	90	発信力 傾聴力 規律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力